

農林水産商工常任委員会提出資料

(平成30年9月19日)

項目		ページ
1	ため池緊急点検の結果について 【農地・水保全課】	1
2	農林水産部試験研究課題にかかる平成30年度外部評価委員会の 結果について 【とっとり農業戦略課】	3
3	岐阜県における豚コレラの発生について 【畜産課】	別紙
4	今年度の林業創生オーストリア林業技術導入の取組について 【林政企画課】	5
5	ベニズワイガニの解禁について 【境港水産事務所】	6
6	「DINING OUT TOTTORI-YAZU with LEXUS」の開催結果について 【販路拡大・輸出促進課】	7
7	鳥取県産品の情報発信に係る取組について 【販路拡大・輸出促進課】	9
8	一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【水産課】	11

農 林 水 産 部

ため池緊急点検の結果について

平成30年9月19日
農地・水保全課

平成30年7月豪雨を受けて、鳥取県内で実施したため池緊急点検の結果（平成30年8月末時点）について、報告します。

1 点検の目的

平成30年7月豪雨では、多くの農業用ため池が決壊（全国32か所、鳥取県0か所）したことから、その後の豪雨や台風等に備えて、鳥取県内において緊急点検を実施（全国でも同様に実施）し、必要に応じて応急措置を講ずることにより、ため池の被災リスクの低減を図る取組を行いました。

2 点検対象ため池

点検は、下流の家屋や公共施設等に被害を与える可能性のある298か所のため池を対象としました。

3 点検内容・体制

(1) 点検内容

点検は、以下の項目について、現地において目視で確認しました。

- ・「堤体」：堤体法面の陥没や亀裂、湧水や浸食などの変状の有無
- ・「洪水吐及び取水施設」：施設の損傷や周辺地盤などの変状の有無
- ・「ため池内・堤体周辺の斜面と法面」：流木の堆積や斜面の崩壊等の有無

(2) 点検体制

県と市町が連携し点検を実施しました。

4 点検期間・結果

- (1) 平成30年7月19日から8月31日までに、県内298か所のため池で緊急点検を実施しました。
- (2) 点検を行ったため池のうち「応急措置が必要と判断されたため池」を11か所確認しました。（別紙のとおり）
- (3) なお、この11か所のうち4か所については、既に地元からの要望により、緊急点検前から状況把握し、改修に向け対応しています。
- (4) また、今回新たに確認した7か所については、現在、改修又は廃止に向けて対応中（3か所）、地元と対応調整中（4か所）です。
- (5) 現在、応急措置が必要と判断されたため池11か所については、ため池内の水を抜き水位を低下させる低水位管理又は県・市町等により定期的に巡視を行い、被災リスクの低減を図っています。

5 今後の対応

今回、緊急点検の結果を踏まえ、引き続き低水位管理又は定期的な巡視を行うとともに国の補助事業や単県事業を活用しながら、平成31年度中には応急措置が必要と判断された全てのため池の対策を行う予定です。

(別紙)

「応急措置が必要と判断されたため池」にかかる対応状況

区分	市町名	ため池名	応急措置として国は下記の6段階の対応を示しており、本県の場合はいずれも「低水位管理」と「定期的な巡視」に該当(措置済)						今後の対応方針(予定)	
			立入禁止措置	ブルーシートによる保護	土のうによる崩落防止	洪水吐の堆積土砂や流木等撤去	水位低下と低水位管理	定期的な巡視		
※既に対応中のため池	鳥取市	さかくちためいけ坂口溜池						○	改修	
	八頭町	かみづつみ上堤						○	改修	
	倉吉市	はらだにいけ原谷池						○	改修	
	南部町	おてすいけ琴己石池						○	改修	
今回新たに判明したため池	現在対応中	鳥取市	おくたにくちかみいけ奥谷口上池					○	改修	
		倉吉市	みやたにがしらいけ宮谷頭池						○	改修
		鳥取市	ずいきだにつつみ芋莖谷堤の上流						○	廃止
	地元と調整中	南部町	おくづつみいけ奥堤池						○	改修
		南部町	いざかうえいけ井坂上池					○		改修
		南部町	あおきいけ青木池						○	改修
		岩美町	よこおいけ横尾池					○		廃止
	計	11					3	8		

※ 「既に対応中のため池」は、地元からの要望を受けて、緊急点検前から改修に向け対応しているもの。

農林水産部試験研究課題にかかる平成30年度外部評価委員会の結果について

平成30年9月19日
とっとり農業戦略課

外部の有識者の方々による幅広い視点をもとに試験研究課題の選定、試験研究の効率的な実施及び広範囲に普及可能な技術の確立を図ること等を目的として、試験研究課題の外部評価を行いました。

1 外部評価委員会

- (1) 実施日 7月23日(月)、8月2日(木)、8月28日(火)
 (2) 評価者 学識経験者(鳥取大学、公立鳥取環境大学)、流通・経済界(市場関係者)、生産者(農業・林業・水産業関係者)、消費者 計11名

2 評価結果(別紙参照)

- (1) 評価対象
 ア) 来年度から取り組もうとする研究課題(事前評価対象 12課題)
 イ) 4年以上の試験研究課題のうち研究期間が中間に達した研究課題(中間評価対象 16課題)
 (2) 評価結果の概要

区分	事前評価			中間評価			合計
	◎	○	×	◎	○	×	
農業試験場	—			3	3		3
園芸試験場	—			9	8	1	9
中小家畜試験場	—			1		1	1
畜産試験場	4	1	3	1		1	5
林業試験場	7	4	3	1	1		8
栽培漁業センター	1		1	1	1		2
課題数合計	12	5	7	16	13	3	28

【凡例】

◎: 12点以上	事前: 研究を実施する	中間: 研究を継続する
○: 12点未満9点以上	事前: 研究内容・方法を見直して実施する	中間: 研究内容・方法を見直して継続する
×: 9点未満	事前: 実施を見合わせる	中間: 研究を中止する

(3) 研究内容・方法の見直し等に関する委員の主な意見

試験場	研究課題名	委員意見
園試 (中間)	気候・風土に適応した砂丘ラッキョウ・ナガイモの安定生産技術の確立	環境に配慮した窒素量等(=施肥方法)を検討すること。
中小家畜 (中間)	「鳥取地どりピヨ」の性別体重較差改善を目指した種鶏改良	日齢を増やす場合の費用対効果を考える必要がある。
畜試 (事前)	高能力種雄牛産子の子牛育成技術の確立	触診で実施している過肥(肥満)の判定方法を検討し、判定基準を明確にする必要がある。
〃 (〃)	体外受精卵技術を活用した和牛増頭と育種改良技術の確立	OCT(光干渉断層撮影)解析を活用・応用した効果が期待できる。
〃 (〃)	県産牛乳のおいしさ評価試験	全国にブランド展開をするときに、研究によって明らかになった数値を加味してはどうか。
〃 (中間)	粗飼料増産のための優良品種選定試験	近年の気候変動に考慮し、成果等の軌道修正を視野に入れてはどうか。
林試 (事前)	樹齢に応じた「県産スギの材質の良さ」に関する研究	材質特性に合った用途の提案を行うべき。
〃 (〃)	中規模建築物への県産材の構造利用に関する実証試験	建築業界とのタイアップなど具体的戦略を持つ必要がある。
〃 (〃)	カラマツ造林に向けた育苗技術の確立及び獣害対策の実証試験	カラマツの環境耐性について十分精査する必要がある。
裁漁セ (事前)	沿岸漁業収益向上対策試験	季節、場所に適した操業方法(曳網時間、網目の大きさ等)を検討する必要がある。

3 今後の取組

- 委員からの意見はかなり高度で専門性の高いものもあるが、試験研究課題への反映を検討し、効果的な研究になるよう努める。
 ○今回の結果はホームページ等でも公開し、広く一般県民の皆様に試験研究課題への理解を図る。

7月23日、8月2日、28日農林水産部試験研究機関の試験研究課題外部評価委員会 評価結果

試験場		試験研究課題名	試験期間	合計点	総合評価
農業試験場	中間評価	水稻品種育成試験	S43～(終期なし)	13.5	◎
	"	水稻・麦・大豆の高品質・安定生産を目指した病害虫防除技術の確立	H27～(終期なし)	13.1	◎
	"	転作野菜の導入を促進する排水等対策技術の確立	H28～H32	12.9	◎
園芸試験場	中間評価	鳥取のナシ産地活性化を目指す栽培技術の確立	H26～H35	12.1	◎
	"	「輝太郎」を核としたカキの産地力強化に向けた栽培技術の確立	H26～H35	12.8	◎
	"	中山間地園芸作物の安定栽培技術の確立	H26～H35	12.5	◎
	"	鳥取の花きとシバ栽培を支える安定生産技術の確立	H26～H35	13.8	◎
	"	園芸作物における病害虫の防除対策	H28～H34	12.0	◎
	"	気候・風土に適応した砂丘ラッキョウ・ナガイモの安定生産技術の確立	H26～H35	11.9	○
	"	野菜主要品目の生産拡大と高品質生産技術の確立	H26～H35	12.7	◎
	"	白ネギを核とする弓浜砂丘地の野菜栽培技術の確立	H27～H34	12.9	◎
	"	市場競争力のある鳥取オンリーワン園芸品種の育成	H28～H32	13.3	◎
中小家畜試験場	中間評価	「鳥取地どりピヨ」の改良試験 -「鳥取地どりピヨ」の性別体重較差改善を目指した種鶏改良	H28～H32	11.3	○
畜産試験場	事前評価	鳥取和牛ブランド向上試験	H31～H35	12.7	◎
	"	高能力種雄牛産子の子牛育成技術の確立	H31～H35	11.7	○
	"	体外受精卵技術を活用した和牛増頭と育種改良技術の確立	H31～H35	11.9	○
	"	県産牛乳のおいしさ評価試験	H31～H33	11.2	○
	中間評価	粗飼料増産のための優良品種選定試験	H19～(終期なし)	11.8	○
林業試験場	事前評価	樹齢に応じた「県産スギの材質の良さ」に関する研究	H31～H35	10.6	○
	"	中規模建築物への県産材の構造利用に関する実証試験	H31～H35	11.6	○
	"	“とっとり”の新しいCLTの製造・利用技術の確立	H31～H33	13.5	◎
	"	防火・防災性を付与したLVL内装材の開発	H31～H34	12.5	◎
	"	カラマツ造林に向けた育苗技術の確立及び獣害対策の実証試験	H31～H34	11.3	○
	"	小型ドローンレーザによる林分解析技術の確立	H31～H33	12.8	◎
	"	下刈り作業における熱中症対策	H31～H32	12.5	◎
	中間評価	高齢広葉樹林(ナラ類、シイ・カシ類)の萌芽更新技術の確立	H28～H32	12.3	◎
栽培漁業センター	事前評価	沿岸漁業収益向上対策試験	H31～H33	11.1	○
	中間評価	サケマス類養殖技術支援事業	H28～H32	12.8	◎

平均値	事前評価	中間評価
◎:12点以上	研究を実施する。	研究を継続する。
○:9点以上12点未満	研究内容、方法を見直して実施する。	研究内容、方法を見直して継続する。
×:9点未満	実施を見合わせる。	研究を中止する。

今年度の林業創生オーストリア林業技術導入の取組について

平成30年9月19日

林政企画課

本県では、平成26年度から、林業先進国オーストリアに学ぶ取組を行うことによって、林業の成長産業化を通じた地方創生の実現を目指しています。

今年度は、「オーストリアの森林道設計と開設技術」を主なテーマとして、以下のとおりシンポジウムや研修会等を開催します。

1 強く・使いやすい森林道づくりシンポジウム

(1) 日 時 平成30年10月9日(火) 午後1時から午後4時45分まで

(2) 場 所 鳥取県立倉吉未来中心 セミナールーム3

(3) 内 容 基調講演、話題提供(講演)、パネルディスカッション

(4) 講演者

ア 基調講演

マルティン・クロンドルファー氏(ピヒル森林研修所 所長)

クラウス・フリードル氏(シュタイアーマルク州農林会議所 アドバイザー)

イ 話題提供

ルイジ・フィノキアーロ(オーストリア大使館 商務部)

石原鉄也(船越産業有限会社 土木部長)

2 オーストリア講師と森林土木技術者交流会

(1) 日時 平成30年10月9日(火) 午後6時30分から

(2) 場所 ホテルセントパレス倉吉

3 研修会

(1) 室内研修

ア 日時 平成30年10月10日(水) 午前9時30分から午後5時まで

イ 場所 伯耆しあわせの里 大研修室

ウ 講師 クロンドルファー氏、フリードル氏

エ 内容 「森林道の計画・設計」

オ 参集予定者

林業・建設業の路網作設技術者、土木建設コンサルタント、自治体担当職員、
林業経営者等

(2) 現地研修

ア 日時 平成30年10月11日(木)～12日(金) 午前10時から午後4時まで

イ 場所 (調整中)

鳥取県、八頭中央森林組合、鳥取県中部森林組合の林業専用道、森林作業道作設現場

ウ 講師 クロンドルファー氏、フリードル氏

エ 内容 「森林道の計画・設計・施工」

オ 参集予定者

林業・建設業の路網作設技術者、土木建設コンサルタント、自治体担当職員、
林業経営者等

ベニズワイガニの解禁について

平成30年9月19日
境港水産事務所

カニ水揚げ日本一の境漁港では、9月1日にベニズワイガニ漁が解禁となり、9月7日に初水揚げを行いました。水揚量は前年を2トン上回る水揚げでした。

初水揚げの結果

	初水揚げ日	水揚量	水揚金額	入港隻数	最高値	平均単価
平成30年	9月7日	15トン	5,524千円	1隻	49,000円/箱	11,390円/箱
平成29年	9月6日	13トン	4,799千円	1隻	13,500円/箱	11,186円/箱

近年の水揚げ推移（1～12月集計）

	水揚量(トン)	金額(千円)	単価(円/kg)
平成29年	7,295	3,433,436	471
平成28年	8,214	3,015,241	367
平成27年	8,473	2,528,786	298
平成26年	9,185	2,275,659	248
平成25年	8,912	1,965,625	221

(統計資料：水産物取扱高統計報告書)

初セリ式の様子（9月7日午前7時～、4号上屋内）



<境港カニ水揚げ日本一PR実行委員会>

- 会長 越河彰統（こしかわあきのり）（日本海冷凍魚(株)代表取締役社長）
- 構成 生産者、荷受（三卸）、田後漁業協同組合、境港鮮魚仲買協同組合、境港市観光協会、皆生温泉旅館組合、境港商工会議所、境港水産振興協会、境港市、鳥取県等
- 目的 「境港カニ水揚げ日本一」を、各種イベント等を通じて県内外に発信。境港に水揚げされるベニズワイガニ及びズワイガニの付加価値向上、消費の拡大、魚食の普及、ひいては境港の水産業及び観光業の振興を図る。

<今年度のPRスケジュール>

- ・漁船出漁式（8月31日）
- ・初セリ式（9月7日）
- ・伊勢丹新宿鳥取フェア（9月15、16日）
- ・阿佐ヶ谷ベニズワイガニ料理教室（9月29、30日）
- ・鬼太郎カップ境港駅伝競走大会（10月14日）
- ・道頓堀リバーフェスティバル（10月21、22日）
- ・江戸川区かに祭り（11月4日）
- ・境港市内保育所でのカニ集会（11月上旬）
- ・JRA阪神競馬場の境港特別杯（12月8、9日）
- ・第16回カニ感謝祭（1月20日）
- ・その他、ウェルカニキャンペーンと連携したPRを実施する。



保育所でのカニ集会（昨年の様子）

<資源管理の取組>

- ・平成17年から、小型ガニを逃がすため脱出口（内径9.5cm）を付けた漁具に改良している。
- ・平成19年9月から、日本で初めて船舶ごとの年間漁獲量の上限を国が設定している。今漁期（平成30年9月1日から平成31年6月30日まで）境漁港に水揚げする船11隻の漁獲割当総量は8,948トンである。

<参考>

- ・今漁期の水揚量は、例年並みの漁獲量7～8千トン、水揚金額は、30億円程度の見込みである。
- ・境漁港に水揚げする船は、鳥取県船3隻、島根県船6隻、新潟県船2隻、合計11隻である。
- ・平成29年の境漁港の水揚げシェアは全国の約64%で日本一であり、2位は香住漁港である。

「DINING OUT TOTTORI-YAZU with LEXUS」の開催結果について

平成30年9月19日

販路拡大・輸出促進課

食のみやこ鳥取県の魅力等をメディアにより全国に発信するために誘致したDINING OUT TOTTORI-YAZU with LEXUSが、次のとおり開催されたので、その概要を報告します。

1 DINING OUT TOTTORI-YAZU with LEXUS の開催概要

(1) 日程 9月8日(土)、9日(日) デイナー:18:00~21:30

(2) 参加者 40名(9月8日(土))、37名(9月9日(日))

(3) ツアー概要

鳥取県を巡るツアーとして1泊2日 16~22万円でJTより販売

鳥取集合(鳥取空港・JR鳥取駅) ※集合地~会場~宿泊地の間はLEXUS 車両で送迎

⇒レセプション会場: 青龍寺(八頭町下門尾)~オズガーデン(八頭町安井宿)

⇒ディナー会場: 清徳寺(八頭町清徳)

⇒宿泊: 三朝温泉(依山楼岩崎、旅館大橋)、羽合温泉(望湖楼)

⇒翌日ツアー: あおや和紙工房(鳥取市)紙漉き体験~アルマーレ(岩美町)ランチ ⇒解散(鳥取空港・鳥取駅)

※荒天のため 両日とも青龍寺立ち寄り中止、9日のディナー会場は荒天時会場: 太田邸(八頭町富枝)に変更

(4) 出演

料理人: 徳吉洋二(とくよし ようじ)

鳥取県出身 ミラノのミシュラン星付きレストラン「Ristorante TOKUYOSHI」シェフ

ホスト: アレックス・カー(東洋文化研究家)

サービス統括: 大橋直誉(おおはし なおたか) (レストランプロデューサー)

(5) 開催主体

主催: (株)ONESTORY オフィシャルパートナー: LEXUS、YEBISU

オフィシャルサポーター: 鳥取県 協力: 八頭町

2 DINING OUT TOTTORI-YAZU LOCAL DAY の開催概要

これまで、全国各地で13回開催されてきたダイニングアウトの中で、今回初めて地元出身のシェフをメインシェフに起用。世界で活躍するトップシェフの故郷への「凱旋」特別企画として、地元のお客様に鳥取の食を体感してもらうため「DINING OUT TOTTORI-YAZU LOCAL DAY」も開催されました。

(1) 日時・場所 9月7日(金) 18:00~21:30 清徳寺(八頭町清徳)

(2) 参加者 42名 (参加費: 3万円/人)

(3) 出演 料理人: 徳吉洋二、サービス統括: 大橋直誉

(4) 開催主体

主催: (株)ONESTORY 協力: 鳥取県、八頭町

協賛: (株)エミネット、enetopia(鳥取ガス(株))、(有)岸田牧場、(有)徳吉薬局、(株)山陰合同銀行



3 主な成果

(1) 食のみやこ鳥取県の県内外への情報発信

【露出メディア(予定)】メディア参加数 17社

○BSジャパンのドキュメンタリー番組制作「奇跡の晩餐」(1時間番組) 10月21日放映予定

※イベントの様子だけでなく、徳吉シェフが産地を回って生産者とふれあうシーンも放映される。

○食雑誌「料理通信」、ライフスタイル雑誌「pen」、地域PR雑誌「Discover Japan」等への掲載、ONESTORYのweb、地元メディア(BSS、TSKはイベント準備段階から密着取材。民放TV3社で放送)への露出

※ライフスタイル雑誌「LEON」、旅行ガイドブック「ことりっふ」、Yahoo!ライフマガジン、webマガジン「コロカル」(マガジンハウス)、自動車専門雑誌の「web CG(カーグラフィック)」も参加。

【お客様の声】

○シェフ、サービス、地元の人々、客が一体となる唯一無二のイベントだったと思う。

○エンターテインメント性のある料理と、スタッフの皆様から受けた精一杯のおもてなしが最高だった。

○スタッフの一体感と客に対するホスピタリティが一流だと思った。東京の一流レストランでも体験できないと思う。

○鳥取のその土地を味わう忘れられない体験ができて良かった。

○徳吉シェフと八頭の文化と歴史の化学反応に感動した。

(2) 地元シェフ等の意識醸成

準備、企画段階から地元飲食業界、地域づくり団体等と協働して実施し、スタッフとして一流のサービス、料理の独創性を体験する中で意識改革、スキル向上、県産食材の魅力を再認識した。

※地元シェフ等はダイニングアウトが鳥取でできることに驚き、是非休業してでも参画したいとの声が上がった。

※料理12品全てに県産食材を使用した。(鳥取和牛、鹿肉、ハタハタ、ベニズワイガニ、白いか、キジハタ、ヒラメ、二十世紀梨、ぶどう、天美卵、鶏肉、天然鮎、らっきょう、米、トマト、ナス、大山こむぎ、三宝甘長唐辛子、抑制極味スイカ、日置桜、千代むすび、大山陣構茶(紅茶)、牛乳)

[シェフ] Ristorante TOKUYOSHI スタッフ5人のほか、地元料理人(イタリアン、和食、カフェ等)計12名が参加した。

※徳吉シェフは地元料理人から多くの質問を受け、料理のノウハウを伝授した。

大江ノ郷自然牧場、(株)トリクミ、アルマーレ、梅の井、板前亭ちくま、山紫苑、倉吉シティホテル、ペペネーロ [サービススタッフ] 地元のレストラン、地域団体等から21人のスタッフが参加しお客様へのサービスを実施した。

八頭町観光協会、若桜鉄道もりあげ隊、大江ノ郷自然牧場、(株)トリクミ、鳥取環境大学ほか

[レクサス運転手] レクサス車両での送迎は鳥取ハイヤー共同組合加盟のタクシー会社から延べ30人が協力した。

[生産者] LOCAL DAYに田中農場(コメ)、井尻農園(ミディトマト)、遠藤農園(ブドウ)、大江ノ郷自然牧場(卵)、岡崎農園(柿)の八頭の農家が参加した。

【参加地元スタッフ等の声】

(シェフ・サービススタッフ)

○全国から来てもらえて誇りに思えたり、やり方次第でいろんなことができると思った。

○店舗の枠を超えて団結力が高まった。

これをきっかけに、自分たちで何か継続的に取り組みたい。

○一流シェフの感性やサービスを目の当たりにし、体験することで非常に良い経験ができた。

(運転手)

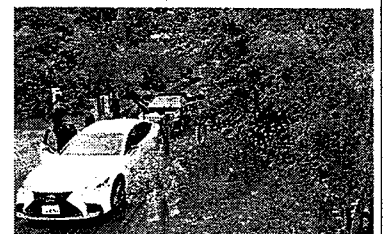
○感度の高いお客様に接客することで自分自身の仕事に対する意識が高まった。

○タクシーはおもてなしによって快適な移動空間を提供するサービスとなることを再認識し、ぜひ今後活かしたい。

(※急な日程変更にもかかわらず完璧に業務を遂行)

(生産者)

○自分の作った農産物が一流シェフに認められ、お客様にも喜んでいただけ、自信とやりがいを持った。これからは味にこだわって、喜んでもらえるものを作りたい。



(3) このイベントを契機とした展開

○隼LAB、大江ノ郷自然牧場、アルマーレではイベントで出された料理の一部を今後メニュー化することを検討している。

○一過性のイベントにしないうため、来月地元関係者が集まり今後の取組についての検討会を実施予定である。

(参集メンバーは、今回参加した地元のシェフ、サービススタッフ、生産者、八頭町、県等を予定)

鳥取県産品の情報発信に係る取組について

平成30年9月19日
販路拡大・輸出促進課

梨を中心とした鳥取県産品の知名度向上、ブランド化を図るため、次のとおり情報発信の取組を行いました。

1 県産梨の情報発信

(1) 卸売市場でのPR

県産二十世紀梨の初販売日を迎えるに当たり、二十世紀梨のPRのため、大阪・東京において販売セレモニーを開催した。

■関西地区：8月23日（木）大阪市中央卸売市場本場 主催：JA全農とっとり

ア 実施内容

- ・野川鳥取県副知事トップセールス
- ・わかとりメイツ（二十世紀梨大使）による二十世紀梨のPR
- ・二十世紀梨試食

イ 参加者：梨生産者代表、県内3農協役員、JA全農とっとり、わかとりメイツ、県

■関東地区：8月28日（火）東京都中央卸売市場大田市場

主催：全農とっとり 共催：鳥取県

ア 実施内容

- ・平井鳥取県知事トップセールス、石破衆議院議員挨拶
- ・わかとりメイツによる二十世紀梨のPR、二十世紀梨試食

イ 参加者：梨生産者代表、JA全農とっとり、わかとりメイツ、県、石破衆議院議員、赤沢衆議院議員、舞立参議院議員



(2) 首都圏高級フルーツ専門店でのPR

首都圏での鳥取県産「梨」のブランド化を進めるため、高級フルーツ店と連携したPRイベントを開催した。

■京橋千疋屋

○新甘泉試食販売

ア 日時 8月27日（月）

イ 場所 京橋千疋屋アトレ恵比寿店

ウ 実施内容

- ・生産者、わかとりメイツが試食や説明を行い新甘泉をPRした。
- ・青果取扱店：アトレ恵比寿店、京橋本店、大丸東京B1 ショップ、小田急新宿ハルク店の4店舗

○パーラーでの鳥取の梨フェア

ア 場所 京橋千疋屋パーラー（アトレ恵比寿店）

イ 期間 8月27日（月）～30日（木）

（結果・反響等）

- ・天気も良く、気温も高かったことから、店舗に入られるお客様の多くが試食をされた。
- ・「甘い」「みずみずしくて美味しい」といった声が大半であった。



■新宿高野本店

○フルーティライフ教室、新甘泉試食販売

ア 日時 8月30日（木）

イ 実施内容

- ・フルーティライフ教室 テーマ「鳥取県 和梨」
梨生産者、野菜ソムリエが県産梨の歴史、美味しい食べ方などを、一般消費者10名に紹介した。
- ・新甘泉試食販売
生産者等により新甘泉の試食PRを行った。

○「鳥取和梨」1dayイベント

ア 日時 9月2日（日）

イ 実施内容

- ・知事トップセールス
- ・二十世紀梨試食販売
- ・フルーティライフ教室（上記と同じ）
- ・フルーツバー「鳥取県梨コーナー」設置等

（結果・反響等）

- ・新甘泉の試食をされたお客様に多くお買い求めいただいた。（2時間で約6ケース（約80玉）を販売した。）



2 百貨店等でのフェア等

■銀座三越「鳥取フェア」(8月29日(水)～9月4日(火))

- ・知事トップセールス(新甘泉の試食販売、プリンセスかおり、GABAライス、江府米ひとめぼれの試食販売)
- ・販売品目: 梨(二十世紀梨、新甘泉、なつひめ)、米(プリンセスかおり、GABAライス奥大山江府米ひとめぼれ)鳥取和牛、トマト、きのこ、境港サーモン等
- ・県内出展事業者 ちむら 1社

(結果・反響等)

- ・お客様は新甘泉の甘さと食感の良さに驚かれ、購買につながった。
- ・二十世紀梨を合わせて買っていかれるお客様も複数いらっしゃった。

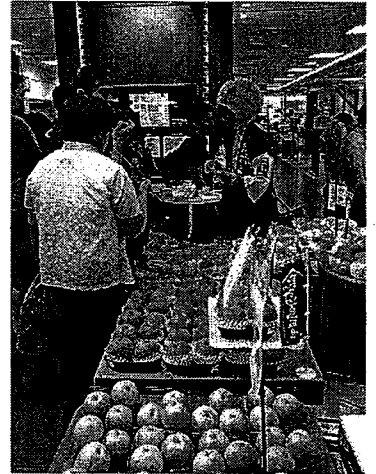


■JR名古屋タカシマヤ(8月29日(水)～9月4日(火))

- ・販売品目
二十世紀梨、新甘泉、なつひめ、秋栄
9月1日(土)、2日(日)は梨の試食を実施した。

(結果・反響等)

- ・赤梨を好まれるお客様が多く、圧倒的に「新甘泉」が売れたが、「二十世紀梨」を懐かしんで購入してくださるお客様も一定数おられた。
- ・期間中の売り上げは予想を上回り、お店にも大変喜ばれた。



■横浜タカシマヤ「鳥取 大山フェア」(8月29日(水)～9月4日(火))

- ・販売品目: 二十世紀梨、新甘泉
- ・県内出展事業者: 13社(ジュジュアン、吾左衛門本舗、こてつ家、高塚かまぼこ店、前田梨園、三幸丸、大山ハム、プライアンテック、ながた茶店、日本きのこセンター、マイハニー、寿製菓、日南トマト加工)

(結果・反響等)

- ・季節感のある売り場展開となり、常にお客様が試食、購入される状況で、二十世紀梨、新甘泉ともに盛況であった。29日、1日にはトリピーも出演し、相乗的に盛り上がりのある売り場となった。

■(株)光洋「大青果市」

(9月2日(日)～3日(月)、8日(土)～9日(日))

- ・KOHYO全店(約80店舗)(9月2日(日)～3日(月))
販売品目: 「二十世紀梨」等鳥取県産梨
- ・KOHYO山田店「鳥取・梨フェア」(9月8日(土)～9日(日))
販売品目: 二十世紀梨、新甘泉ほか県産品

(結果・反響等)

- ・雨天であったものの県が販促を行った山田店では、売り上げが好調で、試食、PRに多くのお客様が集まった。
- ・広告等で大々的に鳥取県産の梨を取り上げるとともにイオングループの制作番組(MBS/産直ダイスケ)においても県産梨を放送した(9月8日、9月15日)。



■ハローキティ新幹線×新甘泉(8月25日(土)、9月1日(土))

- ・山陰DCの一環として、新甘泉知名度アップのため、キティ新幹線(岡山～新大阪間往復)で試食PRを実施した。
- ・9月1日は新大阪駅マルシェでの山陰DCグルメフェアと連動し、イベント出店の梨販売へお客様を誘導した。

(結果・反響等)

- ・特に新大阪から乗車する大阪近郊のお客様は梨好きのようで試食を喜ばれ、味・食感・名前とも好評だった。



一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成30年9月19日
水産課

【新規分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	工事内容	摘要
水産課 (西部総合事務所生活環境課)	堺漁港高度衛生管理型市場整備事業4号上屋ほか 改修工事(建築)	堺港市 昭和町	株式会社フイディア 代表取締役 福井 龍介	108,000,000円 (設計額111,024,000円) 落札率 97.28%	平成30年8月9日 ~ 平成31年1月31日	平成30年8月8日	【工事内容】 4号上屋ほかの改修及び防鳥対策工事 ○構造規模・鉄骨平屋建	制限付一般競争入札 2社 平成30年8月2日 開札

【変更分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	工事内容	摘要
水産課 (営繕課)	堺漁港高度衛生管理型市場整備事業陸送上屋新築工事(電気設備)	堺港市 昭和町	堺漁港高度衛生管理型市場整備事業陸送上屋他新築工事(電気設備)中電工・吉備総合電気特定建設工事共同企業体 株式会社中電工 鳥取統括支社 執行役員支社長 藪内 未男	(当初契約額) 225,720,000円	平成29年2月9日 ~ 平成30年10月31日	(当初契約年月日) 平成29年2月2日 (第1回変更契約年月日) 平成29年6月13日	【工事内容】 陸送上屋新築に伴う電気設備工事 電灯、動力、受変電、拡声、火災報知、構内配電線路、構内通信線路設備 製氷機械室新築に伴う電気設備工事 電灯、動力、受変電、拡声、火災報知 ○変更内容 契約書の標準様式の一部改正について(通知)(平成29年4月6日付第207700007739号鳥取県県土整備部長通知)により、前払金の特別措置(前金払を行うことができる範囲の拡大)が平成30年3月31日まで延長になったことに伴い、平成28年度に契約した工事も特別措置の期間を延長することができることとなり、受注者から協議があったため、当該特別措置を適用するため契約約款中の記載を変更するもの。 ※契約金額及び工期の変更なし。	

【変更分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	工事内容	摘要
水産課 (営繕課)	境漁港高度衛生管理型市場整備 場整備事業1号上屋新築 工事(1工区)(建築)陸送 上屋新築工事(電気設備)	境港市 昭和町	境漁港高度衛生管理型市場整備 事業1号上屋新築工事(1工区) (建設)美保テクノス・金田工務 店・リンクス特定建設工事共同企 業体 美保テクノス株式会社 取締役社長 野津 一成	(当初契約額) 1,684,800,000円	平成29年3月24日 ~ 平成31年3月31日	(当初契約年月日) 平成29年3月23日	【工事内容】 1号上屋新築工事 ○構造規模:PCaPC造2階建 ○上工事に伴う外構工事 ○変更内容 ・仕上等の仕様変更及び取りやめ ・屋根仕上げ材料、手すり枠、内部間仕切りの使用変更 ・電動シャッターを軽量ハランスシステムへ変更 ・溶接亜鉛メッキ(鉄骨腿・べい部)、応先防鳥ネット及びしーる、 換気塔防鳥ネット及びワイヤー等の取りやめ ・塗床仕上の追加 (抗菌効果、耐薬品、耐摩耗性を備えた塗床に変更) ・既設仮設詰所の移転に伴う経費 ・土間コンクリート工事の変更 ・地中障害物の撤去(液状化対策の支障となるため) 工事用道路設置撤去、水替工 1式	
				(第2回変更後契約額) 1,687,654,440円 〔 2,854,440円 (変更額) 〕		(第1回変更契約年月日) 平成29年6月26日 (第2回変更契約年月日) 平成30年8月28日		
水産課 (営繕課)	境漁港高度衛生管理型市場整備 場整備事業1号上屋新築 工事(2工区)(建築)陸送 上屋新築工事(電気設備)	境港市 昭和町	境漁港高度衛生管理型市場整備 事業1号上屋新築工事(2工区) (建設)美保テクノス・平田組・竹 田工務店特定建設工事共同企業 体 美保テクノス株式会社 取締役社長 野津 一成	(当初契約額) 1,548,720,000円	平成29年3月24日 ~ 平成31年3月31日	(当初契約年月日) 平成29年3月23日	【工事内容】 1号上屋新築工事 ○構造規模:PCaPC造2階建 ○上工事に伴う外構工事 ○変更内容 ・仕上等の仕様変更及び取りやめ ・屋根仕上げ材料、手すり枠、内部間仕切りの使用変更 ・電動シャッターを軽量ハランスシステムへ変更 ・溶接亜鉛メッキ(鉄骨腿・べい部)、応先防鳥ネット及びしーる、 換気塔防鳥ネット及びワイヤー等の取りやめ ・塗床仕上の追加 (抗菌効果、耐薬品、耐摩耗性を備えた塗床に変更) ・既設仮設海水配管等に移設するための経費 ・土間コンクリート工事の変更 ・地中障害物の撤去(液状化対策の支障となるため) 工事用道路設置撤去、水替工 1式	
				(第2回変更後契約額) 1,550,225,520円 〔 1,505,520円 (変更額) 〕		(第1回変更契約年月日) 平成29年6月26日 (第2回変更契約年月日) 平成30年8月28日		